

第 11 回 北区リレーションシップ協議会 次第

日時：令和 3 年 11 月 22 日（月）午後 7 時～

場所：北とびあ 7 階第 2 研修室

1 開会

2 座長あいさつ

3 報告事項

- (1) 東京 2020 大会の報告について（速報）（資料 1）
- (2) ハンガリー事前キャンプの実施報告について（資料 2）
- (3) 東京 2020 大会関連事業の報告及び今後の展開について（資料 3）

4 協議事項

- (1) 東京 2020 大会後の北区リレーションシップ協議会の位置づけ（資料 4）

5 各団体・機関からの報告

6 今後のスケジュール

7 閉会

【配付資料一覧】

- 次第
- 協議会構成員名簿
- 席次表
- (資料 1) 東京 2020 大会の報告について（速報）
- (資料 2) ハンガリー事前キャンプの実施報告について
- (資料 3) 東京 2020 大会関連事業の報告及び今後の展開について
- (資料 4) 東京 2020 大会後の北区リレーションシップ協議会の位置づけ
- (資料 5) 北区スポーツコンダクター制度チラシ

令和3年度 北区リレーションシップ協議会構成員名簿

区分	No.	団体・機関等	氏名(敬称略)
学識経験者	1	東洋大学 ライフデザイン学部健康スポーツ学科	齊藤 恭平
スポーツ	2	北区スポーツ大使	高橋 勇市
	3	北区スポーツ大使	上田 春佳
	4	北区スポーツ大使	石野 枝里子
	5	日本スポーツ振興センター ハイパフォーマンスセンター運営部	永井 勉
	6	東京都障害者総合スポーツセンター	高山 浩久
	7	東京都北区体育協会	根本 貞義
	8	特定非営利活動法人 れっど★しゃっふる(総合型地域スポーツクラブ)	吉村 実花子
	9	コムスポたきのがわ(総合型地域スポーツクラブ)	大竹 秀樹
	10	北区スポーツ推進委員協議会	葛西 大
地域・産業	11	北区町会自治会連合会	大貫 新一
	12	北区商店街連合会	尾花 秀雄
	13	東京商工会議所北支部	越野 充博
文化・観光	14	一般社団法人 東京北区観光協会	大前 孝太郎
	15	公益財団法人 北区文化振興財団	石山 泰史
教育	16	北区立小学校体育会	清水 勝一
	17	北区立中学校体育会	綿貫 正人
	18	北区立小学校PTA連合会	岡本 好史
	19	北区立中学校PTA連合会	富岡 昇平
	20	北区青少年地区委員会	鈴木 将雄
	21	北区青少年委員会	恒松 晃
行政	22	北区政策経営部	中嶋 稔
	23	北区地域振興部	藤野 浩史
	24	北区教育委員会事務局教育振興部	小野村 弘幸

※令和3年度新規構成員については、太字・下線標記しています。

第 11 回 北区リレーションシップ協議会 席次表

令和 3 年 11 月 22 日 (月)

北とぴあ 7 階 第 2 研修室

敬称略

スクリーン
プロジェクター

北区スポーツ大使
上田 春佳

北区スポーツ大使
石野 枝里子

北区スポーツ大使
高橋 勇市

北区町会自治会連合会
会長 大貫 新一

東洋大学
ライフデザイン学部
教授 齊藤 恭平

北区商店街連合会
会長 尾花 秀雄

東京商工会議所北支部
会長 越野 充博

	副座長	座長	
日本スポーツ振興センター ハイパフォーマンスセンター運営部長 永井 勉			東京北区観光協会 会長 大前 孝太郎
東京都障害者総合スポーツセンター スポーツ支援課長 高山 浩久			北区文化振興財団 事務局長 石山 泰史
東京都北区体育協会 専務理事 根本 貞義			北区小学校体育会 会長 清水 勝一
れつど★しゃっふる 副理事長 吉村 実花子			北区中学校体育会 会長 綿貫 正人
コムスポたきのがわ 理事長 大竹 秀樹			北区小学校 PTA 連合会 会長 岡本 好史
北区スポーツ推進委員協議会 会長 葛西 大			北区中学校 PTA 連合会 会長 富岡 昇平
政策経営部長 中嶋 稔			北区青少年地区委員会会長会 会長 鈴木 將雄
教育振興部長 小野村 弘幸			北区青少年委員会 会長 恒松 晃
地域振興部長 藤野 浩史			
事務局			ゲスト席

東京オリンピック・
パラリンピック担当課

傍聴者席

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

受付

出入口

東京2020大会の報告について（速報）

第3回 東京2020大会
開催都市本部会議資料

I 東京2020大会の概要

○ オリンピック

- ・会 期：令和3年7月23日（金）～8月8日（日）【17日間】
- ・競 技 数：33競技（うち追加競技：野球・ソフトボール、空手、スケートボード、スポーツクライミング、サーフィン）
- ・会 場 数：42会場（都内24会場、都外18会場）
- ・参加国等：205の国・地域及び難民選手団
- ・参加人数：選手11,259人（うち日本選手団583人）
女性選手の割合約49%
- ・日本のメダル数：金27個、銀14個、銅17個
- ・観 客：無観客・・・東京・埼玉・千葉・神奈川・北海道・福島
有観客・・・宮城・静岡・茨城（学校連携観戦のみ）（観客は43,300人）

○ パラリンピック

- ・会 期：令和3年8月24日（火）～9月5日（日）【13日間】
- ・競 技 数：22競技（うち新競技：バドミントン、テコンドー）
- ・会 場 数：21会場（都内15会場、都外6会場）
- ・参加国等：162の国・地域及び難民選手団
- ・参加人数：選手4,405人（うち日本選手団254人）
女性選手の割合約42%
- ・日本のメダル数：金13個、銀15個、銅23個
- ・観 客：無観客
[学校連携観戦] 東京・埼玉・千葉で実施（都内は参加10,543人）

II 都の主な取組等

○ 都市オペレーションセンター（COC）

<大会運営に係る総合的な連絡調整>

- ・新型コロナウイルス関連情報、ライフライン、公衆衛生情報等を集約し、組織委員会メインオペレーションセンター（MOC）に共有するとともに、庁内への報告・関係者との共有を行った。
- ・COC支部を設置し、MOC内に連絡員を配置して、大会運営に関する情報を収集するとともに、本部・支部ともに24時間体制とし、ICTツールも活用しながら、切れ目ない情報集約及び連携を行った。



COC本部

<競技会場等周辺対応>

- ・学校連携観戦等競技会場周辺の対応として、会場周辺にCOC職員・シティキャストを配置し、学校連携におけるバス乗降場等から会場までの巡回・案内や、会場周辺における事案対応等を実施

<パラリンピックマラソン>

・観客が密集しやすいエリアにおいて、COC職員・シティキャストを配置し、手持ちパネル等を活用しながら、観戦自粛と感染症対策の呼び掛けを実施



観戦自粛等の呼び掛け

○ 新型コロナウイルス感染症対策

組織委員会・都・国によるコロナ対策調整会議において、専門家も参画し水際対策、入国後の行動、健康管理の徹底などを幅広く議論を行い、その内容を大会関係者が守るべきルールとしてプレイブックに取りまとめ、下記の通り実効性のある感染症対策を実施

【水際対策】

・アスリート・大会関係者に対して、出国の14日前から健康観察を行うとともに、出国前に2回の検査、入国時にも検査を行うなど徹底した水際対策を実施

	検査数	陽性者数	検査数に占める陽性者数の割合
空港検疫検査 7/1~9/5	54,234件	54人	0.10%

【入国後検査・健康管理】

- ・アスリート等、大会関係者に対し、入国後3日間は、毎日のスクリーニング検査を行うとともに、アスリート等は原則毎日、大会関係者はアスリートとの接触レベルや役割等に応じて定期的に検査
- ・パラリンピック大会においては、選手村に従事する者をはじめとした大会関係者について、実施頻度を上げて検査

	検査数	陽性者数	検査数に占める陽性者数の割合
スクリーニング検査 7/1~9/5	1,008,479件	310人	0.03%

【行動管理】

- ・プレイブックに従い、滞在中の用務先を予め承認された行き先に限定し公共交通機関を使用しないなど、一般都民との接触を回避する厳格な行動管理を実施
- ・受入責任者（組織委員会）の責任の下、各所属組織にCLO（コロナ対策責任者）を配置し、各人の行動管理を実施
- ・違反行為については、組織委員会で厳正に対処

【陽性者発生時の対応】

- ・徹底した感染防止策を行った上でも、アスリート等に感染者が発生した場合の対応の仕組みとして、組織委員会感染症対策センター、東京2020大会保健衛生支援東京拠点を構築し、連携して対応

- ・東京2020大会保健衛生支援東京拠点、選手村滞在アスリート等を対象とし、発生届受理、宿泊療養・搬送調整、積極的疫学調査等の業務を実施
- ・都内における選手、大会関係者の入院については、大会指定病院と予め受入れ調整を実施
- ・軽症、無症状の場合は、原則組織委員会が確保した宿泊療養施設を活用するなど、都の医療・療養体制への負担を抑制

＜都内における訪日大会関係者（陽性者）の療養状況＞

9月5日現在

	入院件数	宿泊療養施設等療養件数
アスリート等 ・大会関係者 計	6人 (ピーク時2人)	224人 (ピーク時49人)

○ 輸送

- ・交通需要マネジメント（TDM）、首都高速道路の料金施策、交通システムマネジメント（TSM）等を実施
- ・業界団体のご協力のもと、工事時期の調整や夜間への振替、搬入時間の変更等の工事調整を実施
- ・高速道路の交通量(概ね外環内側) 【2018年比速報値】

	オリンピック	パラリンピック
平日	12%減	15%減
休日	32%減	32%減



一般道路の交通量(概ね外環内側) 【2018年比速報値】

	オリンピック	パラリンピック
平日	3%減	4%減
休日	7%減	7%減



- ・TDMの重点取組地区(16地区)の滞在人口(大会前の7月上旬比速報値)

	オリンピック	パラリンピック
平日の通勤時間帯	3%減	4%減
平日の日中時間帯	8%減	11%減
休日の通勤時間帯	1%減	2%減
休日の日中時間帯	9%減	9%減

- ・交通マネジメント（TDM、料金施策、TSM）などの適切な運用により、交通量が減少し、選手や大会関係者の円滑できめ細かい輸送サービスを実現

○ ボランティア

- ・大会で活動したシティキャスト(都市ボランティア)はのべ約17,000名 ※速報値
- ・無観客開催に伴い、シティキャストの意見も踏まえ、観客案内に代わる様々な活動を実施

- ・羽田空港における選手のお迎え・お見送り
- ・東京スポーツスクエアにおける来場者案内
- ・聖火台周辺における来場者への声掛け
- ・学校連携観戦で会場へ向かう児童・生徒の案内
- ・パラマラソンの沿道付近における観戦自粛の呼びかけ など

- ・アンケートに回答いただいたシティキャストのうち8割から活動に満足したとの回答あり

○ セキュリティ

- ・都内では、会場内は主に組織委員会が、ラストマイルを含む会場外は、警視庁など東京都が警備を担当
- ・大会期間中、会場内外において、組織委員会は延べ30万人の民間警備員等を中心に、また、都内は警視庁等の警察官約3.6万人体制で警備
- ・期間中、大会運営に影響を与える特段の事案なし



羽田空港における選手のお見送りの様子



シティキャストの活動の記念にお渡しするピンバッジ



警備員の活動の様子

○ 暑さ対策

<マラソン・トライアスロンコース等>

- ・遮熱性舗装等の整備促進や、街路樹の計画的なせん定による緑陰拡大の取組を推進

<シティキャスト>

- ・連続する活動時間を最大60分とし、活動の合間に空調の効いた控室で休憩
- ・冷たい飲料水や保冷剤付ネッククーラー、塩分補給剤、アイスタオル等を提供
- ・人から離れた日陰でマスクを外し、こまめに水分補給を行うよう案内



控室でアイスタオル等を受け取るシティキャスト

<学校連携観戦>

- ・児童・生徒向けに、クールスポット(冷房付きテント等)を設置、暑さ対策グッズ(冷却用タオル等)や飲料を配布

○ 持続可能性への配慮

- ・メダルに必要な金属を使用済み携帯電話等から100%回収
- ・福島県で製造された水素を、開閉会式の聖火台・聖火リレートーチの燃料や、選手村の休憩施設等の電力供給に活用
- ・事業者提供のクレジット72万トンで相殺することで、開閉会式4日間の都内CO₂排出量ゼロを実現
- ・大会関係車両に燃料電池自動車やプラグインハイブリッド車等の低公害・低燃費車の導入を促進



都庁舎での携帯電話等受付
10万個突破記念セレモニー

○ 多言語による情報発信

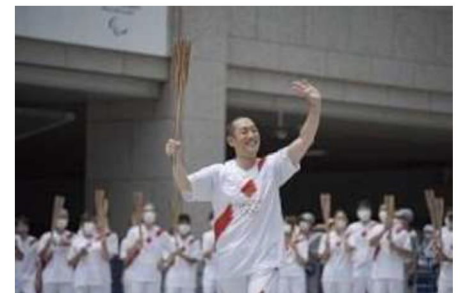
- ・大会期間中「おてなしガイドアプリ」を活用して、会場にいる日本語が分からない方や音が聞こえにくい方に向けてアナウンス等を多言語で文字配信（日・英・中（繁・簡）・韓・西・仏の7言語）



聖火台

○ 聖火リレー

- ・区部・多摩地域では公道走行中止。島しょは大島町を除き公道走行を実施
- ・全ての聖火リレーセレモニーをネット配信し、リモート観戦を推奨
- ・大会史上初めて聖火リレートーチに水素を活用（オリンピック）
- ・7月9日から23日の開会式までの15日間で実施
- ・公道実施の自治体：島しょ地域の8町村
- ・点火セレモニーを実施した自治体：23区、26市・5町村
- ・ランナー数：1,265人（点火セレモニー1,227人、公道38人）（パラリンピック）
- ・8月20日から24日の開会式までの5日間で実施
- ・公道実施の自治体：なし
- ・点火セレモニーを実施した自治体：14区、9市
- ・ランナー数：585人



聖火 到着式
(7/23 都民広場)



パラ聖火 到着式
(8/24 織田フィールド)

○ 気運醸成

(1) デジタルを活用した情報発信

集客型のライブサイト・イベントから転換し、以下を実施

- ・自宅観戦に役立つ大会情報や、競技・選手などを紹介する特設WEBサイトの開設

- ・オンラインライブ配信（大会の見どころ、競技紹介、アスリート応援動画）10本
- ・「インターナショナルデー パフォーマンス」など文化国際交流の発信
- ・都内・被災地の団体のパフォーマンス動画の配信（伝統芸能、歌、舞踊など67団体分を掲載）



Webを活用した盛り上げ

(2) パラリンピック広報PR

- ・パラリンピック応援のテレビCM放映（8/20～9/5）
- ・注目選手・競技紹介の新聞折込チラシ（250万部配布）
- ・自宅観戦用パラマラソンマップ・チラシ
- ・パラリンピックギャラリー銀座での競技体験等
- ・EU文化部門と連携したパラスポーツ写真展等



パラリンピック応援サイト

(3) シティドレッシング・大規模展示物

都内の道路、空港、主要駅等を大会ルックによるフラッグやバナー等で装飾し、大会の雰囲気高めるとともに、都内各所でのシンボル・大会マスコット像等の展示を通じて、気運を盛り上げ



オリンピックシンボル
（お台場）

○ 事前キャンプ ※都内での感染者0件

- ・都内では、13区、6市、1民間が、事前キャンプを受入
- ・自治体は、選手等の受入にあたり、マニュアルを作成し、選手やスタッフ等に対してスクリーニング検査を実施
- ・一部の自治体では、選手とのオンライン交流（大会期間中）や対面での交流（大会出場後）を実施

オリ：4区、4市、1民間 ※練習会場のみ提供は8区
 パラ：3区、3市 ※練習会場のみ提供は3区



ウズベキスタンのキャンプ
（杉並区・ボクシング）

○ 復興オリンピック・パラリンピック

- ・オリンピックでは、宮城県でサッカー競技を、福島県で野球・ソフトボール競技を開催
- ・有明アリーナには、復興のシンボルとなる樹木（岩手・宮城・福島・熊本各県の県木）を植樹
- ・オリンピックスタジアム横の聖徳記念絵画館前には、復興仮設住宅の廃材アルミを原材料とし、被災地の中高生からのメッセージを載せた「東京2020 復興のモニュメント」を設置
- ・その他、聖火リレーやメインプレスセンター等、様々な場面で「復興オリンピック・パラリンピック」を発信



東京2020 復興のモニュメント
（左奥から宮城県・福島県・岩手県）

○ 選手村

- ・選手の生活に必要な施設（敷地面積 約44ha）
宿泊棟21棟（オリンピック時18,000ベッド、パラリンピック時8,000ベッド）
メインダイニングホール（営業時間:24時間、最大提供食数:45,000食/日）
カジュアルダイニング（東京産や被災地（岩手、宮城、福島）の食材については毎日活用）
ビレッジプラザ（63自治体から無償で借り受けた木材を使用）
発熱外来（感染症疑いの患者に対する診療、PCR検査等の実施）
フィットネスセンター（有酸素マシンやウエイトマシンなど約600アイテムを設置）等

（オリンピック） 7月13日から8月11日 計30日間運営
（パラリンピック） 8月17日から9月8日 計23日間運営



宿泊棟



メインダイニングホール

○ アクセシビリティの確保

- ・都立競技会場は「Tokyo2020アクセシビリティ・ガイドライン」を踏まえるとともに、障害者や専門家の意見等を聴取し、会場整備に反映
例) トイレを、利用形態に応じて、会場内に分散配置
車いす使用者席を水平方向や垂直方向に分散配置
- ・組織委員会は、大会に向けて各会場に応じて仮設で入口や各種施設へのスロープ、車いす使用者用の観客席、多機能トイレなどを設置



<乳幼児対応トイレ>



東京国際フォーラム
会場入口(アクセシブル)

○ 東京スポーツスクエア・メインプレスセンター

- ・国内外のメディア等に対し、大会の情報や開催都市東京の魅力を発信
- ・入国14日以内の公認メディアを対象に取材機会を提供し東京の魅力を発信。バリアフリー対応を行い、車椅子の方にも参加いただいた。



シティインフォメーション

Ⅲ 大会のレガシー

○ 大会後のレガシーを見据えた東京都の取組

- ・大会に向けて、バリアフリー化など誰もがやさしさを感じられるまちづくりや、メダルプロジェクトなど持続可能性に配慮した取組、スムーズビズ、多言語対応など、ハード・ソフト両面に渡る多面的な施策を推進。また、大会に向けた新型コロナ対策は、都民の安全・安心な暮らしの実現に寄与
- ・こうした大会のレガシーを、都市のレガシーとして発展させ、都民の豊かな生活につなげていく。

東京2020大会がもたらした価値

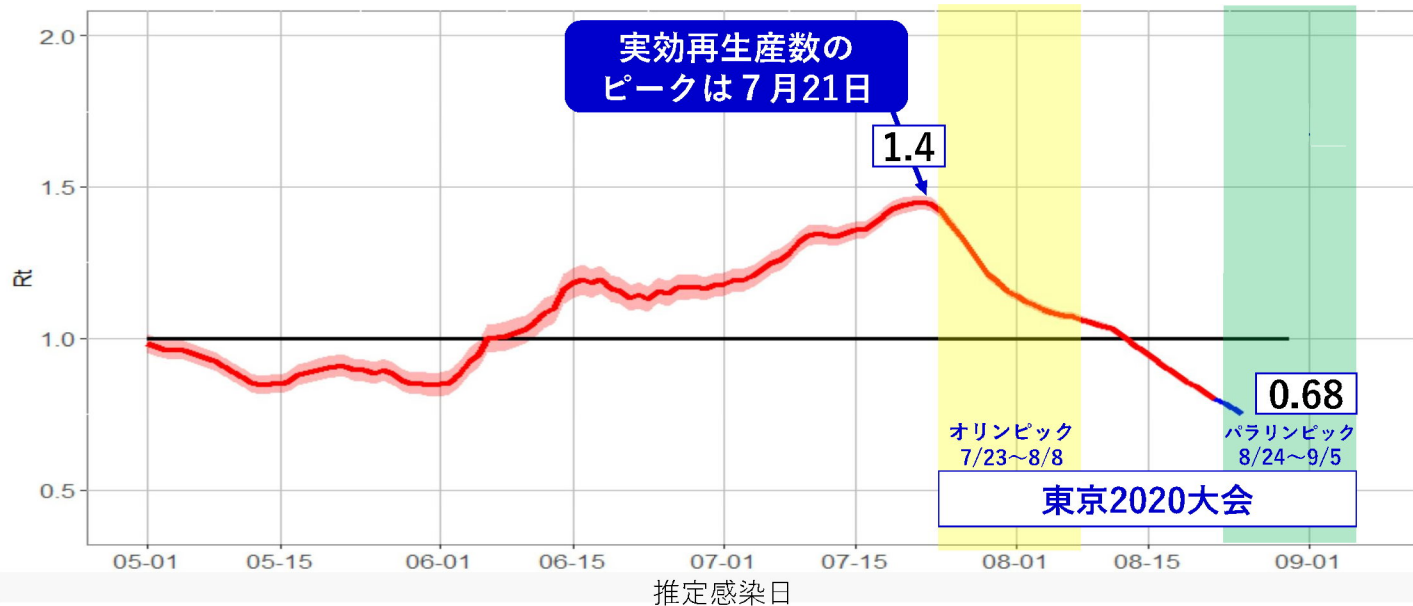
	東京オリンピック (7月23日～8月8日・33競技339種目)	東京パラリンピック (8月24日～9月5日・22競技539種目)
世界中からアスリートが参加	過去最多と並ぶ 205 の国・地域と難民選手団 合わせて選手約 1万1,000 人が参加	リオ大会を上回る 162 の国・地域と難民選手団 合わせて選手約 4,400 人が参加(選手数過去最多)
高いパフォーマンスを 発揮	世界新記録が 26 個誕生 <small>※ボートの世界ベスト6種目を含む</small>	世界新記録が 153 個誕生
史上最も多様性あふれる大会	性的マイノリティー (LGBTQ) であることを明かして参加する選手の数が、 過去最多の 182 人に(2016年リオ大会の3倍)	過去最多の 28 人に(2016年リオ大会の2倍)
日本選手団の活躍	過去最多の総メダル 58 個を獲得 (これまでの最多は2016年リオ大会の41個)	過去2番目の総メダル 51 個を獲得 (過去最多は2004年アテネ大会の52個)

コロナによって分断された世界を、スポーツの力で一つにした大会

安全・安心な大会開催

	大会前	実績
アスリート 大会関係者 の陽性状況	空港検疫検査 (7/1～9/6)	大会前の 陽性率想定： 0.2%
	スクリーニング 検査 (7/1～9/6)	繁華街等の スクリーニング 陽性率： 0.1%
アスリート 大会関係者 の療養状況	都内医療機関 (入院)	大会前の想定 (ピーク時)： 8.5 人
	都内宿泊療養施設	大会前の想定 (ピーク時)： 44.6 人
		陽性率： 0.10% 54人(陽性者数)/54,236件以上(検査数)
		陽性率： 0.03% 312人(陽性者数)/1,017,190件(検査数) (うち訪日大会関係者164人)
		入院者数(ピーク時)： 2 人 (訪日大会関係者) ※ 都内医療機関は大会指定病院へ入院
		入所者数(ピーク時)： 49 人 (訪日大会関係者) ※ 大会用に組織委が300室を準備 余剰の部屋は都民用として活用

海外からのアスリート・大会関係者の陽性率等は当初想定を下回る水準



東京の実効再生産数は7月21日をピークに下落傾向へ

北区リレーションシップ協議会資料
令和3年11月22日
東京リレッツ・パ・リレッツ担当課

ハンガリー事前キャンプの実施報告について

1 要 旨

東京 2020 オリンピック競技大会時に実施したハンガリー柔道協会及びフェンシング連盟の事前キャンプについては、新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」という。）対策に万全を期した上で実施した。

選手は多数のメダルを獲得するとともに、練習見学や事後交流を実施した。引き続き、「トップアスリートのまち・北区」の発信を一層推進していくため、同国両競技団体とのスポーツを通じた交流を検討していく。

2 現 況（経過等）

区では、ハンガリー両競技団体受入に向けて、選手等の入国手続きの支援、区内滞在時の環境整備を進めるとともに、保健所や地域医療機関と連携した感染症対策の準備を行ってきた。一方で、北区ハンガリー応援団を結成し、オンライン交流会やメッセージ交換等の交流を行ってきた。

東京 2020 オリンピック競技大会時には、区民との接触を避けるための環境（バブル方式）により事前キャンプを支援し、競技終了後には、選手と区民との対面による交流を実施した。

なお、ハンガリー選手等及び北区関係者とともに、感染者はいなかった。

3 事業内容

（1）受 入

- ①期 間：令和3年7月16日（金）～8月2日（月）
※選手村滞在期間と事後交流期間を含む。
- ②人 数：フェンシング30名（うち選手13名）
柔道11名（うち選手6名）
- ③宿泊施設：区内宿泊施設及び選手村
※柔道は入国後、直接選手村へ入村。
- ④練習会場：赤羽体育館 1階（フェンシング）
滝野川体育館 地下1階（柔道）

※赤羽体育館はフロアの一部貸し切り。

※選手村滞在期間中も利用。

⑤ 移 動：専用車両（貸切バス）

⑥ 受入責任者：北区

※選手村滞在期間中の受入責任者は東京 2020
組織委員会。

⑦ 主な成績

○シラギ・アーロン選手 /

フェンシング男子サーブル個人（金メダル）＝写真左上＝

○シクローシ・ゲルゲユ選手 /

フェンシング男子エペ個人（銀メダル）＝写真右上＝

○フェンシング男子サーブル団体（銅メダル）＝写真左下＝

○トート・クリスティアン選手 /

柔道男子 90 キロ級（銅メダル）＝写真右下＝



（２）交 流

① 北区内滞在時（選手村入村前）

○練習見学 ※非対面

○千羽鶴、応援メッセージの寄せ書き（国旗）の贈呈

② 北区内滞在時（競技終了後）

○北区×ハンガリー フェンシング交流会

日 時：令和3年7月31日（土） 15時30分～
会 場：志茂子ども交流館
参加者：41名（ハンガリー4名、北区37名）
内 容：メダル披露、文化交流（盆踊り、ヨーヨー釣り等）
プレゼント交換 等

○ハンガリー選手団 東京2020オリンピック報告会
日 時：令和3年8月1日（日） 18時30分～
会 場：北とぴあ 飛鳥ホール
参加者：52名（ハンガリー15名、北区37名）
内 容：挨拶、選手紹介、大会報告、記念品贈呈 等

4 選手等への感染症対策

- ・日本への出発前96時間以内に検査を別々の日に2回受検し（2回のうち1回は72時間以内）、入国時に陰性証明書を提出。入国時にも受検。
- ・参加国は、全ての国内行程を組織委員会に登録。
- ・選手等の健康状態や位置情報、他者との接触状況をデジタルツールを活用して把握。
- ・専用車両による移動。
- ・区内宿泊施設ではフロア単位の貸し切り、一人一部屋。
- ・練習会場は施設の一部貸し切り。
- ・区内滞在時（入村前）に毎日のスクリーニング検査を実施（唾液による抗原定量検査）。
- ・感染者等発生時に備えた受診医療機関と保健所との事前調整。
- ・区が作成する感染防止対策を含む「受入マニュアル」の遵守。

5 今後の予定

国際大会等におけるハンガリー両競技団体の選手等の来日機会を捉え、スポーツを通じた交流により「トップアスリートのまち・北区」及び区の魅力の発信を一層推進していく。

区内滞在時の写真

<< 競技前 >>

■ フェンシング



■ 柔道



※体育館ロビーにモニターを設置して練習見学。

<<競技終了後>>

■北区×ハンガリー フェンシング交流会



(和太鼓披露)



(手作り神輿披露)



(盆踊り)



(金メダル・銅メダル披露)

■ 手形取り (アスリート手形モニュメント用)



■ ハンガリー選手団 東京 2020 オリンピック 報告会



北区リレーションシップ協議会資料
令和 3 年 1 1 月 2 2 日
東京オリンピック・パラリンピック担当課

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会 関連事業の報告及び今後の展開について

1 要 旨

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京 2020 大会」という。）で北区に関連し実施した事業を報告する。

なお、今後は、東京 2020 大会が身近な出来事であったことを区民に感じてもらい、地域のレガシーとするため、東京 2020 大会に出場した北区ゆかりのアスリートと地域がつながる取組を検討するとともに、学校等での聖火リレートーチ展示などを進めていく。

2 現 況（経過等）

東京 2020 大会は、無観客開催となるなど新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたところであり、関連する区の事業についても、実施形態の変更や大幅な規模縮小を行った。

一方、北区ゆかりのアスリートにおいては、東京 2020 大会での活躍とともに、大会終了後には区へ大会報告をいただくなど、一層の連携を深めている。

3 事業内容（東京 2020 大会前及び期間中）

（1）聖火リレー

感染状況等を踏まえ、都内（島しょ部を除く）の公道走行を見送り、点火セレモニー（特定の会場内で聖火のトーチキス等を実施）のみ実施した。

① オリンピック聖火リレー（北区）

○点火セレモニー

日時：令和 3 年 7 月 1 8 日（日） 1 5 時 5 分～

会場：東京都中央卸売市場足立市場

② パラリンピック聖火リレー（北区）

○採火式・聖火ビジット（展示）

日時：令和3年8月20日（金）
9時00分～11時30分

会場：飛鳥山公園 飛鳥山碑前

採火方法：まいぎり式火起こし

○点火セレモニー

日時：令和3年8月20日（金） 17時32分～

会場：東京都障害者総合スポーツセンター

(2) 「トップアスリートのまち・北区」特別イベント

○日時：令和3年7月23日（祝）

○会場：北とぴあ さくらホール

○ゲスト：中澤佑二氏（元サッカー日本代表）

千田健太氏（元フェンシング日本代表

ロンドンオリンピック銀メダル）他

○内容：トークショー、競技デモンストレーション、
来場者参加型クイズ

○来場者数：213名

(3) 東京2020大会コミュニティライブサイト

感染状況等を踏まえ規模を大幅に縮小し、パラスポーツの普及啓発を目的としてパラリンピック期間のみ実施した。

○期間：令和3年8月25日（水）～9月5日（日）

※夜間実施なし。

○会場：北とぴあ1階 区民プラザ

○内容：競技中継、会場装飾、主催者展示

○来場者数：延べ155名 ※受付を経て会場へ入場した方。

○その他：来場者アンケートでは、「パラスポーツを知るきっかけになった」との回答が約96%であった。
特別支援学校の児童生徒が制作したポスターを
展示した。

4 事業内容（東京2020大会後）

(1) 北区ゆかりのアスリートとの連携 == 別紙参照 ==

大会終了後、区へ大会の報告をいただきインタビューを行うとともに、一部の選手については、北区スポーツコンダクター制度（講師派遣事業）に登録いただいた。

(2) 卓球混合ダブルス金メダル獲得記念 混合ダブルス卓球大会

○日時：令和3年11月6日（土）

- 会場：赤羽体育館
- 主催：一般社団法人 Tリーグ（共催：北区）
- 参加者数：79組158名
- ゲスト：宮崎 義仁 氏（日本卓球協会強化本部長）
 - 伊藤 慎紀 選手（東京2020パラリンピック
女子シングルス・クラス11
（知的障がい）銅メダル）
 - 浅野 俊 選手（東京2020パラリンピック
男子シングルス・クラス11
（知的障がい）出場）
 - 木原 美悠 選手（JOCエリートアカデミー生、
区立稲付中学校卒）
 - 小塩 遥菜 選手（JOCエリートアカデミー生）
- 他
- その他：東京2020オリンピックで実際に使用された卓球台や北区ゆかりのアスリート、ハンガリー選手団等の展示を同時開催した。

（3）聖火リレートーチ巡回展示

- 日程：令和4年1月から順次
- 会場：区立小・中学校、区立幼稚園・認定こども園
及び体育施設等
- 展示品：オリンピック・パラリンピック聖火リレーの
トーチ及びランナーユニフォーム

（4）東京2020大会を象徴する物品の活用

東京2020組織委員会から、競技用具（実際に使用されたサッカーボールとバスケットボール）やボランティアユニフォーム等の提供を受け、地域のレガシーとして有効活用（展示等）していく。

（5）アスリート手形モニュメントへの手形追加設置

- 場所：稲付西山公園
- 対象アスリート：9名 ※手形取りは実施済み。
 - ・ハンガリーフェンシング
男子サーブル団体 銅メダリスト4選手
（個人戦の金メダリスト含む）
 - ・北区ゆかりのアスリート5選手
（鈴木セルヒオ選手、山田美諭選手、太田渉子選手、

小川仁士選手、澤田優蘭選手)

○設置時期：令和3年度内に一括設置予定

(6) 物品の再使用

東京2020組織委員会では持続可能な大会実現のため、都内自治体からの希望に応じて調達物品の無償譲渡を行っており、北区においては次のとおり順次譲渡を受けている。

※東京2020大会で物品に表示される東京2020エンブレム等については、東京2020大会終了後、組織委員会で除去されており、引渡時に物品に東京2020エンブレム等は表示されていない。

①概要(北区)

- ・種類：32
- ・物品数：329

②主な物品

- ・フルHD固定カメラ：78台
- ・フルHD液晶ディスプレイ：30台
- ・スマートフォン：16台
- ・飛沫防止板：26個 等

5 今後の予定

東京2020大会開催を契機として創出された関連事業をレガシーと捉え継続するとともに、NTCやJOC、北区ゆかりのアスリート等と連携しつつ、スポーツを軸とした地域活性化及び魅力発信に取り組むことで、「トップアスリートのまち・北区」の発信を一層推進していく。

(北区ゆかりのアスリート等と連携した主な事業)

令和3年12月5日 スポーツボランティア養成講座

(講師：澤田 優蘭 選手)

令和3年度

トップアスリート直伝サッカー教室

(講師：東京ヴェルディ)

トップアスリート直伝卓球教室

(講師：日本卓球協会)

北京2022冬季オリンピック・パラリンピック出場選手の応援・PR

	氏名	競技	北区との関わり
オリンピック	はりもと ともかず 張本 智和 選手	卓球 男子シングルス・団体 ★団体 銅メダル	稲付中学校卒業
	ひらの みう 平野 美宇 選手	卓球 女子団体 ★銀メダル	稲付中学校卒業
	すすき せるひお 鈴木 セルヒオ 選手	テコンドー 男子 -58kg 級	区内企業所属
	やまだ みゆ 山田 美諭 選手	テコンドー 女子 -49kg 級 ★5位入賞	区内企業所属
	はせがわ すずか 長谷川 涼香 選手	競泳 200mバタフライ	田端中学校卒業
	日テレ・東京 ヴェルディベレーザ (6選手)	サッカー 女子	ホームタウン
パラリンピック	おがた しおり 小方 心緒吏 選手	シッティングバレーボール 女子	北区役所勤務
	おおた しょうこ 太田 渉子 選手	パラテコンドー 58kg 超級 ★7位入賞	北区在住
	おがわ ひとし 小川 仁士 選手	車いすラグビー ★銅メダル	区内小・中学校 卒業
	さわだ うらん 澤田 優蘭 選手	陸上競技 100m (T12) 走り幅跳び (T12) ★4×100mユニバーサルリレー 銅メダル	区内小・中学校 卒業

				
張本智和 選手	平野美宇 選手	鈴木セルヒオ 選手	山田美諭 選手	長谷川涼香 選手
				
日テレ・東京 ヴェルディベレーザ	小方心緒吏 選手	太田渉子 選手	小川仁士 選手	澤田優蘭 選手

東京2020大会後の北区リレーションシップ協議会の位置づけ

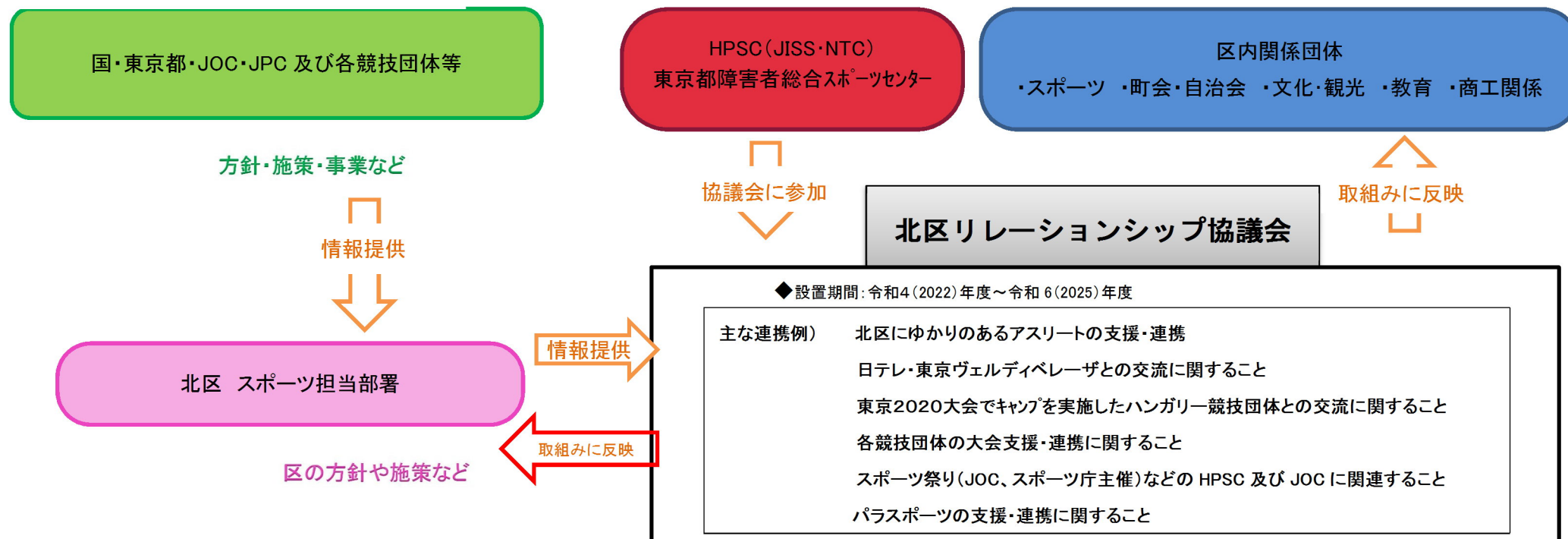
■目的

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、「東京2020大会」という。）後のムーブメントを絶やすことなく、大会のレガシーにとらえ、地域の魅力発信と活性化の機会として、北区が掲げる「トップアスリートのまち 北区」の推進を軸とした関係団体・機関、地域及び北区が一体となった取組をするにあたり、関係者間の情報共有及び連絡調整を強化するため、北区リレーションシップ協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

■協議事項

- (1) 「トップアスリートのまち・北区」の推進に関すること。
- (2) 東京2020大会レガシーに関すること。
- (3) そのほか、北区のスポーツ推進に関すること。

■リレーションシップ協議会の設立によって



関係団体で構成される協議会を設置することで、関係団体間の連携強化につながり、オール北区で「トップアスリートのまち 北区」の推進に努める。

活用してみませんか？

北区スポーツコンダクター制度

★スポーツコンダクター制度とは…

世界を舞台に活躍したアスリートを、さまざまな事業・イベントへ派遣する制度です。アスリートの技術を活かしたスポーツ指導や講演を行うことにより、皆さんの運動能力の向上を図るとともに、スポーツへの関心を高めます。

★対象（基本的に区内団体）

- ・小中学校、高等学校
- ・保育園、幼稚園
- ・町会・自治会、地域団体
- ・企業 など



アテネパラリンピック 金メダリスト
高橋 勇市 氏による講演（令和元年12月）

★依頼可能なこと

- ・講演会の講師
- ・運動の実技指導 など

★派遣可能なアスリート（一例）

- ・下記以外のアスリートも区ホームページ（下記QRコード参照）で掲載しています。

氏名	実績
山田 美諭 氏	北区在住・在勤 2021年 東京オリンピック テコンドー -49kg 5位入賞 2020年 東京オリンピック代表選考会 優勝
太田 渉子 氏	北区在住 2021年 東京パラリンピック テコンドー K44 +58kg 7位入賞 2014年 ソチパラリンピック（日本選手団旗手）バイアスロン ショート 6位入賞 2010年 バンクーバーパラリンピック クロスカントリースキー クラシカル スプリント 銀メダル
高橋 勇市 氏	北区スポーツ大使（平成28年10月～） 2004年 アテネパラリンピック 男子マラソン視覚障害の部 金メダル
多川 知希 氏	2016年 リオパラリンピック 男子陸上4×100mリレー 銅メダル
大山 妙子 氏	2004年 アテネオリンピック 女子バスケットボール出場

★申込方法

- ・北区ホームページにある派遣依頼書に必要事項を記入の上、**実施日2か月前までに**申込先へ送付をお願いします。
- ・**アスリートの都合等によっては派遣自体が難しいこともあります。ご了承ください。**
- ・アスリートへの謝礼は申込団体のご負担となります。詳細は下記の問合先までご連絡ください。

★問合先・申込先

北区地域振興部 東京オリンピック・パラリンピック担当課
〒114-8503 北区王子1-11-1 北とびあ10階
TEL:03-5390-1136 FAX:03-5390-1137 E-mail:oripara@city.kita.lg.jp



北区ホームページ

障害者週間記念事業

障害者週間記念事業として、東京2020パラリンピック銅メダリストによる
パラスポーツをテーマとした講演会と、スポーツボランティア養成講座を開催！！

日時 令和3年12月5日（日） 午後2時～4時（受付：午後1時30分～）

会場 赤羽体育館（志茂3-46-16）サブアリーナ

内容 第一部 障害者週間記念講演会（講演）
「パラスポーツからの障がい者理解」
第二部 スポーツボランティア養成講座（実技）
「みんなで楽しく学ぼう！
障がいと向き合うスポーツボランティアとは？」
伴走体験ほか

講師

さわだ うらん
澤田 優蘭 選手

東京2020パラリンピック競技大会の
陸上競技（視覚障害）に出場。
混合4×100mユニバーサルリレーで銅メダル獲得。
区内在住・区内小中学校出身の北区ゆかりのアスリート。

東京2020パラリンピック銅メダリスト
に会える貴重な機会です！
ぜひ、ご参加ください！！



持ち物 動きやすい服装、室内履き、飲み物

定員 40名 事前申込制 先着順

申込み

電話またはE-mail、北区ホームページ応募フォームで申込み

URL:https://www.city.kita.tokyo.jp/ori_para/20211205.html

※氏名（ふりがな）と電話番号、メールアドレスをご明記ください。

締切：12月1日（水）（必着）



応募フォーム



《申込み先》

北区東京オリンピック・パラリンピック担当課

TEL 03-5390-1136

E-mail spo-vol@city.kita.lg.jp 当日連絡先 090-3094-2901

■会場までのアクセス

- ・地下鉄南北線「志茂駅」1番出口から徒歩7分
- ・都営バス北車庫入口下車徒歩3分
- ・JR赤羽駅南口から徒歩17分

BEYOND STADIUM 2021

パラスポーツが、
盛り上がるのは、
ここからだ。



TEAM
BEYOND



©GLITTERS



©IWRP

2021 12.11 土

11:00 → 18:30
@アリーナ立川立飛

第1部
11:00-12:30

YouTubeからライブ配信!
(無料で視聴できます)

第2部
13:30-18:30

BOCCIA BEYOND CUP
参加チーム募集!(会場観戦は自由)

主催:東京都

ビヨンドスタジアム

検索

www.para-sports.tokyo/stadium/



第1部

BEYOND STADIUM 2021

11:00-12:30

1

「火ノ玉ジャパン」が魅せる!

ボッチャエキシビジョンマッチ

2

メダリストがやってくる!

パラアスリートトークショー

3

ここでしか観れない!

BEYOND STADIUM 限定ライブ

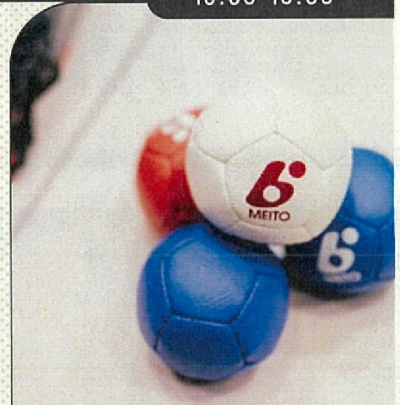
第2部

BOCCIA BEYOND CUP

13:30-18:30

一般参加20チームと著名人チームによるトーナメント。優勝チームは、2022年4月9～10日に東京体育館で開催されるボッチャ東京カップ2022本大会への出場権を獲得!

※どなたでも会場で自由に観戦いただけます。



©Tomokazu Matsukawa



©Tomokazu Matsukawa



©Tomokazu Matsukawa



©Keichi Nitta(ota office)



©JWR



©Shinji



Ponpon TV

AKB48
Team 8

Takamichi

ボッチャ日本代表「火ノ玉ジャパン」

東京2020パラリンピック
ボッチャ(ペア BC3)
銀メダリスト

高橋和樹 選手

東京2020パラリンピック
ボッチャ(ペア BC3)
銀メダリスト

峠田佑志郎 選手

東京2020パラリンピック
ボッチャ(団体 BC1/2)
銅メダリスト

廣瀬隆喜 選手

東京2020パラリンピック
男子車いす
バスケットボール
銀メダリスト豊島英 選手
(WOWOW)東京2020パラリンピック
車いすラグビー
銅メダリスト

小川仁士 選手

シドニーパラリンピック
男子車いす
バスケットボール
キャプテン

根木慎志 さん

動画クリエイター

ボンボンTV
よっち
どみちゃんTEAM BEYOND
メンバーAKB48
チーム8パラスポーツ
大好き藝人
TEAM BEYOND
メンバーみんなの
たかみちさん

※配信内容、ゲスト等は予告なく変更する場合があります。なお、スケジュールおよび出演ゲスト等最新情報につきましては、随時TEAM BEYONDホームページにて公表いたします。

01

観覧する!

豪華ゲストが出演する特別番組をYouTubeからライブ配信(視聴無料)!
抽選で300名様を会場観覧ご招待!

02

出場する!

「BOCCIA BEYOND CUP」参加チームを募集。
家族、友人、学校や職場の仲間と一緒にプレーしませんか? 一般参加20チームを募集します。1位～3位のチームには、メダルを授与。さらに、優勝するとボッチャ東京カップ2022本大会の出場権が獲得できます。経験不問、どなたでも参加できますので、奮ってご応募ください。

※参加希望チーム多数の場合は抽選となります。

出場チーム(予定)

ボンボンTV
AKB48チーム8
タレントチーム
アスリートチーム
メイドチーム
など



©すがやみつる

詳細・申込について

BEYOND STADIUM 2021 特設サイトからご確認ください

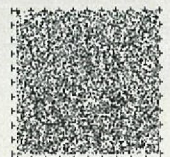
※応募多数の場合は抽選となります。
予めご了承ください

募集期間: 2021年12月2日[木]まで

ビヨンドスタジアム

検索

www.para-sports.tokyo/stadium/



お問い合わせ

TEAM BEYOND TOKYO パラスポーツプロジェクト事務局

MAIL: toiwase@para-sports.tokyo TEL: 03-4335-9612 受付時間: 10:00~17:00(土日祝日、年末年始を除く)

Sport de KITA

スポーツ・デ・キタ

知恵と工夫で「安心・安全なスポーツ」の提供に挑戦! トッパスリートのまち・北区から 「スポーツ・イン・ライフ」の輪を広げましょう

2020年度のスポーツ界は未曾有の危機に直面いたしました。私たちはどのような状況下であっても健やかな人生をスポーツとともに楽しんでいける「スポーツ・イン・ライフ」の実現のために、「スポーツができない理由」を探るのではなく「どのようにすれば安心してスポーツが提供できるか」という対策に努めてまいりました。その結果、知恵と工夫で数々のスポーツイベントを開催することができました。

2021年度も北区スポーツ推進委員協議会では、「三密の回避」・「消毒」・「検温」等を実施し、皆様に「安心・安全なスポーツ」を提供いたします。そして「スポーツ・イン・ライフ」の輪を紡いでまいりますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。



スラックライン体験会 参加者一同



北区スポーツ
推進委員協議会
会長 二村 正徳

スポーツ庁の「Sport in Lifeプロジェクト」は、一人ひとりが日々の生活の中でスポーツを楽しみ、スポーツを通じて健康に配慮しながら、活力のある毎日を過ごせることを目指しています。人と出会い会話することが制限を受けるといふこれまで考えられなかった日常にあって、私たちは皆様が朗らかに集える安心で安全な場を提供できるよう努めていきます。

私たちの活動はホームページで紹介しております。

北区スポーツ推進委員協議会
URL <http://sports-kita.com>

北区スポーツ推進

検索

特集

東洋大学生の活動報告

大学と地域を繋ぐ架け橋として

2021年4月に東洋大学ライフデザイン学部が北区赤羽に移転いたしました。この学部には健康スポーツ学科があり、地域の健康づくりやスポーツ振興に関心を持った学生が多くおります。北区では学生スポーツ推進委員というユニークな制度があり、以前より健康スポーツ学科の学生が関わってまいりました。このたび赤羽に移転したことを機会に、これまで以上に学生たちが北区のスポーツ振興のお手伝いをさせていただくこととなります。区民の皆様と東洋大学の学生が一緒になった笑顔あふれるスポーツ活動が多く展開されることを期待したいと思います。

加えて2023年にはこの学科が発展し「健康スポーツ科学部」という新しい学部が赤羽にできます。この学部と北区が協働したスポーツ振興が展開されることになろうかと思っております。学生たちには健康づくりやスポーツ振興のため、大学と地域を繋ぐ架け橋として大いに活躍することを期待します。



東洋大学
ライフデザイン学部
齋藤恭平 教授



キンボールスポーツのサーブの構えです(笑)

キンボールスポーツ

毎年行われているキンボールスポーツの大会に私たちも参加させていただきました!

初めて体験する者もいたので、練習もかねて日本代表の方々にも教えていただき、ありがたかったです、...!!

大会ではなんと決勝トーナメントまであと一步のところまで頑張りました。

また、事前にコロナウイルス対策の講習会にも参加させていただき、コロナ対策万全で臨むことができました!



↑キンボールスポーツ練習中



コロナ対策↑アルコールと検温

私たちは、東洋大学で全員齋藤ゼミに所属し、「健康社会学」を研究しています。スポーツが大好きなメンバーで力を合わせて、北区のスポーツ推進活動に全力で取り組みます! 皆様と一緒に活動できる日を楽しみにしています。

ノルディックウォーキング

10月に行われたノルディックウォーキングでは、感染症対策を十分に行いながら、赤羽地区を歩きました! 私たちはノルディックウォーキング未経験だったのでボールの使い方を教えてもらいながら2時間近くウォーキングをしましたが、委員同士のコミュニケーションを取るいい機会にもなりました。天気もいい中、荒川沿いを歩くのはとても気持ちよくノルディックウォーキングの楽しさを感じることができました!



Instagram

Instagramに私たちの活動の様子を投稿しています!
ぜひご確認ください!

携帯で読み込んで
みてください!



地区の活動報告

王子地区

北区スポーツ推進委員が運営している教室です。

・親子バドミントン教室 ・大人から始めるバドミントン教室

バドミントンを始めたい方、バドミントンで体を動かしたい方、親子でバドミントンをやってみたい方などを対象にスポーツ推進委員やバドミントンコーチが一緒になって楽しくバドミントンを打っていただいております。

練習内容は次のとおりです。

- ・ストレッチ10分(ケガの予防)
- ・基本ストロークの打ち方(皆さんからの要望など)
- ・ゲーム、1時間30分(全員で)
- ・空いたスペースでの個人レッスン



場 所 東十条小学校 体育館
日 時 毎月第2・4日曜日 18:30~21:00
持 ち 物 体育館履き・運動ができる服装・ラケット(貸出あり)
対 象 者 幼児から大人まで
費 用 無料
参加方法 直接体育館にお越しください。

学校行事などで日程が変更になる場合があります。事前に下記アドレスへメールまたは、QRコードのホームページ内、「メンバー募集中のチーム」の項目で確認してください。

kita.sport.oji@gmail.com 担当: 神原



赤羽地区

2020年度はコロナの影響で活動自粛を余儀なくされました。その中でコロナ対策の講習を受け、どうしたら活動を再開できるか、前向きに検討を重ねました。

10月11日に赤羽ノルディックウォーク体験会を開催いたしました。コロナ対策として朝の健康チェック、検温、手指消毒、マスク着用など、絶対に感染者を出さない! と強い意識を持って行動しました。これからも積極的に前向きに行動していきたいと考えています。



滝野川地区

活動地域は滝野川、田端、西ヶ原になります。この地域でスポーツイベントを行っておりますので自治会の掲示板、北区ニュース等をご確認の上ご参加ください。

また、この地域には総合型地域スポーツクラブ「コムスポたきのがわ」もございます。私達はそちらのバックアップも含めて滝野川地域のスポーツや文化事業を盛り上げてまいります。

よろしく申し上げます。

